



## 学校評価アンケートの実施について

令和4年度も半分以上が過ぎました。これまで各種たよりやホームページを通して、学校の様子や学校の考えをお伝えしながら、学校運営を進めてきたつもりです。このたび、学校評価アンケートを実施します。子供たちのため、地域のために、教員の負担が増えない程度に学校ができること、保護者や地域で協力できることがありましたら、教えていただきたいと思います。

また、福野小学校のよいところ、見直してみたいところも見えてきました。来年度からの学校運営について、考えていることを以下に書きます。一部の保護者の方には、負担が増えることになるかもしれませんが、なにとぞ、ご理解いただけますよう、お願いします。このことについても、もっとよい案がありましたら、教えていただければ幸いです。



### 《立山登山の中止について》

6年生の立山登山についての学校の思いは、これまでの校長だより（第6号・第8号）でも伝えてきました。学校でも検討を重ね、来年度以降は立山登山を中止したいと考えます。立山登山中止については、例え、コロナが収束したとしても、①小学生を受け入れてくれる施設が減ったこと（福野小の人数では、室堂から離れた雷鳥荘しかとれない）、②近年、局地的な大雨等、急な気象の変化が多いことにより、危険のリスクが高いこと（今年、予定通りの日に立山に行けたとしても、1日中雨で視界不良の日であった。仮に1日遅れていたら、大雨警報・土砂災害警戒情報が発令され、福野地域にも避難指示が出た日であった）等の理由から判断しました。室堂散策や黒部ダム観光ということも考えられますが、子供が創意工夫し、班員と協力して活動することにはならず、宿泊学習としては物足りないと思います。

来年度の6年生は、能登青少年交流の家にて、1泊2日の宿泊学習を行います。当施設は、体験できる活動内容が多種にわたっていて、子供たちも満足できると考えます。成功裏に終われば、令和6年度からも続けたいと考えます。

### 《登下校について》

#### ① 朝の開錠時刻を7時45分にできないでしょうか

現在、朝の開錠時刻は7時30分です。これを15分遅らせ、7時45分にできないか考えています。（一番早く学校に着くスクールバスの到着時刻が7時40分です。駐車場でバスを降りて玄関まで歩いてくる時間を考えると玄関前で、2～3分間待たなくてはいけなくなります。）また、欠席等の電話連絡は7時45分から8時5分までをお願いします。

概ね、どこの小学校でも、教員の勤務時間は8時15分から16時45分までとなっています。実際、子供が7時30分に登校してくるとなると、何かあった時の対応のために、子供だけにしておくことはできません、また、日直等を決めて、早く出勤

する教員を決めてはいるものの、それなりに子供を出迎える準備をしたいのが教員です。どうしても早く出勤してしまうこととなります。ちなみに南砺市の他の小学校の開錠時刻も7時45分となっています。お仕事のために、どうしても早く子供を家から出したい保護者の方がいらっしゃることも分かっていますが、何とかご理解いただけないでしょうか。

また、そのときに問題になるのが、スクールバスの学校到着時刻です。今年度、高瀬・南部・東部方面が先バス、西部・北部方面が後バスになっています。不公平がないように、来年度は、西部・北部方面が先バス、高瀬・南部・東部が後バスになる予定です。そうすると先バスの学校到着時刻が7時35分になります。10分間も外に待たせておくこととなります。隔年での先バス・後バスをやめ、毎年、今年度のように、高瀬・南部・東部方面が先バス、西部・北部方面が後バスとしてよいものではないか。

## ② 帰りのスクールバスにも困っています

全校一斉下校の日の帰りのスクールバスは、今年度、高瀬・南部・東部方面が先バス、西部・北部方面が後バスになっています。昨年度から市営バスで帰っていた江田・石田・八塚の子供たちも、スクールバスに乗って帰ることになりました。現在、先バスが学校を出発してから、後バスが出発するまで40分かかり、その間、後バスの子供たちは学校で待機していなければならないことになっています。来年度は、西部・北部方面が先バス、高瀬・南部・東部方面が後バスになる予定です。そうすると、後バスの子供の待ち時間は20分になります。学校が終われば、早めに帰宅させたいと考えます。こちらも、隔年での先バス・後バスをやめ、毎年、来年度のように、西部・北部方面が先バス、高瀬・南部・東部方面が後バスとしてよいものではないか。

バスの増便や市営バスの時間変更等もお願いしていますが、難しいのが現状です。とにかくスクールバスについては、良い案がないか検討中です。

## 管楽器クラブが大阪城ホールで演奏しました

11月19日（土）、管楽器クラブが大阪城ホールにて開催された『第41回全日本小学生バンドフェスティバル』に出場し、銅賞をいただきました。私も観てきましたが、堂々とした演奏でした。帰ってきた子供たちには、概ね次のことを伝えました。

「達成感を味わった子、結果に満足できなかった子等、人それぞれ感じたことは違っていたと思いますが、まずは、北陸代表として大舞台で演奏できたことを誇りに感じてください。その上で、これで終わったわけではありません。5年生以下は来年もあります。6年生も中学生になれば新しいチャンスがあります。勝負しなければいけないことは、これからの人生の中でたくさんあります。満足できた人は何がよかったのか、満足できなかった人は何が課題だったのかを振り返って、この経験をこれからの生かしてください」と。

管楽器クラブの皆さん、お疲れ様でした。指導者の皆様、保護者の皆様、ご支援ありがとうございました。



(校長 曲師政隆)